廣福寺だより

平成30年6月

TERALIVE　インドナイト

異国情緒たっぷりのインド音楽の調べ。そして目の前で繰り広げられる、美しく躍動的なインド古典舞踊。五月十二日の夕べ、本堂では、あっという間に楽しい時間が過ぎました。

この日はご門徒の皆様だけでなく、口コミが広がって百人以上の大勢の人たちで、本堂は満堂でした。その後の懇親会には七十人ほどのご参加を頂き、出演者の方たちと共に、みんなでインドカレーの夕食を楽しみました。

二千五百年前にインドで生まれた仏教は中国に伝わり、長い年月を経て日本に伝えられました。そして広福寺は、お釈迦様の教えを伝えるお念仏の道場として、戦国時代末期からの歴史を重ねてきました。

遠く遥かな時間を経て、仏教のふるさとのインド音楽・インド古典舞踊が、ここ広福寺の本堂で再会していることに深い感慨を覚えました。

TERALIVE　広福寺 インドナイト

風薫る五月十二日、広福寺本堂にて、TERALIVE　インドナイトを開催しました。かねてより、インドナイトの開催を熱望しており、皆さまのお陰で、熱気あふれる本堂となりました。

インドの古典楽器による美しい調べときらびやかな衣装での、表現豊かな舞いに、皆さんは魅了されていました。

懇親会にもたくさんの方が参加され、インドカレーとナンを頂きました。インドの伝統芸術と食をたっぷりと味わう夕べとなりました。

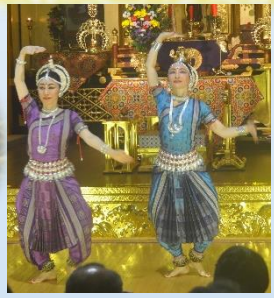
おつとめ 三誓偈

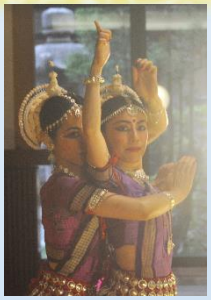
でぃがでぃなエチゴ
インド古典音楽　夕方のラーガ

打弦楽器「シタール」は日本の楽器では出ないような独特な音色で、豊かなメロディ。打楽器「タブラ」は軽快なリズム。インド古典音楽は楽譜がなく、シタールの提示したメロディにタブラが即興で合わせて音楽を作っていました。時折アイコンタクトをとりながら素敵な音を奏でていました。

SWASTIKA　スワスティカ
インド古典舞踊　オリッシーダンス

紀元前２世紀頃からヒンドゥー教の寺院で神への奉納舞として踊られてきました。きらびやかな衣装を身にまとい、女性的な美しさを持ちながら、力強い踊りを披露して頂きました。　踊りにはそれぞれストーリーがあり、表情を変えたり、リズムを変えたりしながら表現豊かに踊る姿に、大勢の方が魅了されていました。





懇親会

皆さんとインドカレーを頂きました。何度もおかわりをされていました。楽しいひとときでした。

お手伝いの方々

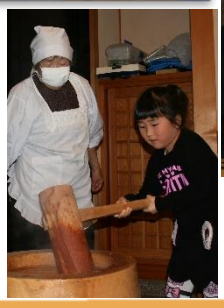
当日の準備や運営をして頂きました。
唐澤仁様・渡邊晃様・近山富貴様・武石雅史様
渡邊健様・武石裕之様 ありがとうございました。

お彼岸おとき

広大会ギャラリー

流しそうめん集合写真

親子ほうおんこう集合写真



●　今後の予定　●

土曜日　午前９時～午前10時　参加費無料

6/30　シャボン玉あそび
7/28　風鈴＆スライム作り
8/11　流しそうめん
9/23　お彼岸お参り(おとき付)
10/13　本堂であそぼう
11/18　親子ほうおんこう＆もちつき

６年生卒業おめでとう

皆勤賞おめでとう

世話方・総代交代

長年にわたり、広福寺世話方を務めて頂きました麓一区木村三千雄氏、麓一区武石金衛氏、麓二区山岸哲也氏の三名の方が退任されました。木村氏は四十年間、武石氏は三十一年、山岸氏は二十一年にわたり世話方を務められました。本堂再建・落慶法要、また昨年の大遠忌法要等、広福寺の大事業の円成に大変な御尽力を頂きました。

後任は本間稔氏、武石豊氏、唐沢仁氏にお願いいたしました。

また本町・和納の総代を長年務められました加藤與志明氏が退任され、後任に加藤達男氏にお願い致しました。

寺の護持運営のために今後お世話を頂くことになりますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。

麓一区
本間 稔 氏

麓二区
唐澤 仁 氏

麓一区
武石 豊 氏

本町・和納
加藤 達男 氏

当院のひとこと

お寺の本堂の造りには様々な形があります。同じ仏教といっても、各宗派によってその造りは異なってきます。

僧侶以外の、お参りの人の場所がほとんどない宗派もありますが、浄土真宗の本堂はお参りの方が座られる外陣（げじん）が大きく造ってあります。

それはなぜでしょうか。浄土真宗の本堂は念仏の教えを聞いていく道場だからです。道場であるからには大勢の人々が入れるような広い空間でなければならないのです。

広い道場に集まり、皆と共に仏法に耳を傾け、お互いの信心を確かめあってきた場所が浄土真宗の本堂です。

今号でもお伝えのとおり、広福寺本堂を会場に「TERALIVE インドナイト」を行いました。大勢のお参りの方で埋め尽くされた本堂にインド古典音楽が響き渡り、美しい古典舞踊が踊られた素晴らしいコンサートになりました。

普段は仏法聴聞の場である本堂が、ときにはコンサート会場になります。せっかくの広い本堂を使わない手はありません。少しでもお寺に興味を持ってもらいたい、足を運んでほしい、そのような願いを込めて私たちも「TERALIVE」を続けています。

TERA（寺）とLIVE（ライブ）を足しただけの言葉のようですが、その中に「ALIVE」＝「今生きている私」ということばが入っています。

仏法を聞くという事は、今生きている私が、いのちをもって生まれてきた私が、そのかけがえのないいのちの意味を深く自身に訪ねていくことだと思います。

TERALIVEというご縁に出遇われて本堂に足を運ばれた方が、少しでも自身のいのちを考えるきっかけになればとの願いを込めて、これからもこの催しを続けていきたいと思っております。ぜひお気軽にこれからもご参加ください。

●広福寺ホームページ更新中です！
ぜひご覧ください。

広福寺ホームページ
https://www.koufukuji-yahiko.net

広福寺

合同年忌法要のお願い

最近「法事は勤めたいが、なかなか難しい」という声をよくお聞きします。確かに法事をお勤めする家の方は、大変なエネルギーを必要とします。法事を勤めると、みんなに迷惑をかけるという思いもあるようです。

これまで長い間「先祖の法事だけは大切に」という私たち浄土真宗の門徒の歴史がありました。今よりずっと生活は苦しく交通も不便な時代に、遠く離れて暮らす家族・親族がみんな「何をおいても法事にだけは」と集まってきたのです。なぜでしょうか？それは、「自分のいのちがあるのは当たり前ではない、自分自身の根っこがあったからだ。そして自分を支えてくれる大きないのちのご縁があるからだ」という、大きな世界に目覚めていく法事の意味が、みんなに無意識に共有されていたからではないでしょうか。

広福寺では今年から「合同年忌法要」を秋のお彼岸中日に行います。事情で自宅で法事はできないが、法事はお勤めしたいという思いをお持ちの方は、ご家族でもお一人でもけっこうです。広福寺本堂でともに法事を勤めましょう。ご参加をお待ちしております。

● 対　象　　**13回忌・17回忌・23回忌・27回忌**
33回忌・37回忌・50回忌があたっている方

● 期　日　　**９月２３日（日）彼岸中日　10時～おとき付**
お彼岸と合同年忌法要のお参りをします。

● ご案内　　詳しくは法事があたっている方に、ご案内します。

※　ご自宅でお勤めした方、予定のある方にはご案内しません。

広福寺大遠忌法要　決算報告

【収入の部】	総計　¥7,691,000	
門信徒御懇志	¥3,670,000	¥5,000×734口
寺院方お祝い	¥1,700,000	41ヶ寺
親戚お祝い	¥193,000	
御門徒法要参加費	¥628,000	73名
勧金積立金	¥1,500,000	勧金の積立金より

【支出の部】	総計　¥9,253,541	
法礼本山	¥1,050,000	
法礼県内寺院	¥2,380,000	
印刷費	¥523,800	チラシ、記念ファイル、パンフレット等
法要記念品・施本	¥920,000	記念袱紗、施本
寺院記念品	¥1,176,925	記念輪袈裟等
当日折箱等	¥472,860	
会場備品・設営等	¥1,642,914	布教用演台、障子襖張替等
写真・ビデオ撮影等	¥938,572	
交通費	¥148,470	本山寺院送迎交通費等

※総収入　－　総支出　＝　△1,562,541（広福寺より繰入済）

昨年の「宗祖親鸞聖人750回忌大遠忌法要」に際しまして、門信徒の皆様をはじめ多くの方々からご尽力を頂き、また御懇志・お祝いを頂戴致しました。お陰をもちまして法要の円成を見ることができました、改めて御礼申し上げます。

平成29年度　広福寺勧金決算書

【収入の部】　単位（円）

科　目	決算額
勧　金	3,288,000
雑　収　入	30,482
繰　越　金	77,114
計	3,395,596

【支出の部】

科　目	金　額	内　訳
1.寺務経常費	3,334,967	
(1)負担金等	921,410	本山護持金　教区費　佛光寺本廟改修工事懇志 ともしび代　光寿堂維持管理費　本山御仏供米料
(2)事務通信費	447,641	コピー機リース代　印刷費　郵送費　用紙代
(3)会議費	57,456	世話方総代会議
(4)教化費	641,182	本山御使僧様法礼　報恩講・女性講法礼　聞法会補助 広大会補助　カレンダー代　大遠忌本山納付金
(5)営繕管理費	1,134,078	火災共済　香　消防設備保守点検　電気代　灯油代　水道修理 庭木剪定・冬囲い・掃除等　ロウソク　セコム　除雪機バッテリー
(6)門徒交際費	133,200	新門徒御本尊
2.積立金	0	
計	3,334,967	

総収入−総支出=60,629（次年度へ繰り越し）

平成30年度　広福寺勧金予算書

単位（円）

【収入の部】

科　目	予算額
勧　金	3,300,000
雑　収　入	1,000
繰　越　金	60,629
計	3,361,629

【収入の部】

科　目	予算額
寺務経常費	3,200,000
積　立　金	100,000
予　備　費	61,629
計	3,361,629

お知らせとお願い

◎九十歳・百歳のお祝い

数え年または満で九十歳・百歳になられた方に、本山から「祝詞」と記念の「朱杯」が贈られます。ご氏名、生年月日を広福寺へご連絡ください。広福寺から額をお贈りしています。

◎一万二千円の勧金のお願い

一戸あたり一万二千円の勧金をお願いしております。本山・教区の負担金、寺の教学、寺務、管理営繕費となります。

◎二千円の墓地管理費

広福寺墓地にお墓がある方。勧金と同時に納入いただける方はよろしくお願いいたします。

◆ 行 事 案 内 ◆

６月６日（水）　永代経法要

午前１０時　勤行
　　法話
　正午　　おとき

６月２３日（土）法中講

浜組法中の６ヶ寺の法話です

午前１０時　勤行
　　法話
　正午　　ちらし寿司
　午後　　勤行
　　法話

盆参法要

8月1日(水)・5日(日)
午前10時半~
勤行・法話・おとき

「門徒式章」

本堂落慶記念にお配りしました。寺の行事・ご法事のときなどにはぜひご着用下さい。真宗門徒のしるしです。お持ちでない方はご連絡下さい。

発行者　広福寺　〒959-0318　新潟県西蒲原郡弥彦村麓6590　☎0256-94-2437